



## 盛岡市プレスリリース

～性別等に関わらず誰もが尊重され活躍できるまち盛岡の実現～

令和4年8月26日  
市民部  
市民協働推進課  
男女共同参画推進室

市政記者クラブ加盟社 各位

# 「もりおか女性センターフェスティバル 2022」 開催のお知らせ

今年度は、SDGsの目標5「ジェンダー平等実現」の達成に向け、貧困と労働、セクシュアル・マイノリティ及び子育てをテーマとした映画を通して課題を共有し、ジェンダー平等の理解を深める機会とします。

また、日頃、当センターを活動拠点とし、男女共同参画推進に取り組む団体の紹介展示を行います。

### 記

【日時】令和4年9月30日（金）、10月1日（土） ※時間は、上映スケジュール参照

【場所】おでってホール（プラザおでって3階）

【内容】上映スケジュール

※新型コロナウイルス感染状況により、内容が変更になる場合がございます。

9/30（金）		10/1（土）	
13：30～	オープニングセレモニー	10：00～	「わたしのヒーロー」（39分） 2019年／日本
13：40～	「メイド・イン・バングラデシュ」（95分） 2019年／フランス・バングラデシュ・デンマーク・ポルトガル	11：00～	「メイド・イン・バングラデシュ」（95分） 2019年／フランス・バングラデシュ・デンマーク・ポルトガル
15：30～	「マララ-教育を求めて闘う少女-」（30分） 2014年／イギリス	14：00～	「ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき」（84分） 2019年／日本

【費用】無料

【定員】各回80人

【対象】テーマに関心のある方

【託児】有料（対象：6カ月から未就学児）要事前申込

先着3人 各日、1作品1人につき500円、2作品以降は800円

【申込方法】9月5日（月）12：00より、もりおか女性センターホームページの申込フォーム

または電話（019-604-3303）にて先着順に受付

【主催】盛岡市、もりおか女性センター

【添付資料】事業チラシ

### 【問い合わせ先】

もりおか女性センター  
担当：森藤雅美、立木浩子  
TEL：019-604-3303

もりおか女性センター フェスティバル

# 映画上映会

無料

9.30(金) 10.1(土)

テーマ：ジェンダー平等とエンパワーメント／

もりおか女性センターでは、毎年ジェンダー平等について考える機会として映画上映会を開催しています。今年は、貧困と労働、セクシュアル・マイノリティ、子育てをテーマとした作品を上映いたします！



© 2019 - LES FILMS DE L'APRES MIDI - KHONA TALKIES- BEOFILM - MIDAS FILMES



「メイド・イン・バンングラデシュ」(2019)

「ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき」(2019)

「わたしのヒーロー」(2019)

「マララ -教育を求めて闘う少女-」(2014)



ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき  
空と木の実の9年間



(c) 2020 MUSUBI Productions

場 所：おでってホール (プラザおでって3F)

定 員：各回 80 人

料 金：無料

申 込：要事前予約 (先着順)

9月5日(月) 12:00 より受付開始

申込フォームまたは、電話にて (019-604-3303)

託 児：6カ月から未就学児・各回3人

(利用料 1作品1人につき500円、2作品以降は800円)

新型コロナウイルス感染状況により、内容が変更になる場合がございます。



【主催】盛岡市、もりおか女性センター 【共催】もりおか女性の会

【後援】岩手県、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日報社、盛岡タイムス社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラヂオ・もりおか、情報紙ゆうゆう、独立行政法人国際協力機構東北センター、公益財団法人盛岡国際交流協会、盛岡市肴町商店街振興組合

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



ご鑑賞の方にステキな景品をご用意しています!

先着：各日 25人  
場所：もりおか女性センター

## 上映スケジュール



9/30(金)

13:30～ オープニングセレモニー  
13:40～ 「メイド・イン・バングラデシュ」  
15:30～ 「マララ-教育を求めて闘う少女-」

10/1(土)

10:00～ 「わたしのヒーロー」  
11:00～ 「メイド・イン・バングラデシュ」  
14:00～ 「ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき」

## 作品介绍



**メイド・イン・バングラデシュ (95分)**

2019年/フランス・バングラデシュ・デンマーク・ポルトガル

「私たちはここにいる」

23歳のシムは、首都ダッカの衣類品工場で働いている。女性たちがせわしなくミシンを踏み続ける中、工場では男性幹部が威張り散らし、泊りがけも余儀なくされるほど環境は厳しく、給料は未払いが続いていた。家では夫が働かず、シムが働いて得たお金をアテにする毎日。そんなある日、労働者権利団体のナシマ・アバに声をかけられたシムは、同僚たちを説得し、労働組合の結成を目指して立ち上がる。



**わたしのヒーロー (39分)**

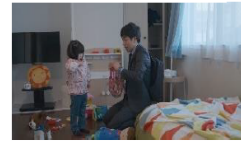
2019年/日本

「松本は仕事、諦めたのか?」

都内のITコンサルに勤める松本遼(33)は現在育休中。想像以上の育児と家事に疲れ果てる毎日。けれども、本日の大変さはそこではなかった。平日昼に歩いていけば職務質問され、友人からは子育ての大変さは理解されない。それは職場復帰してからも、更に重くのしかかってきて.....

【受賞歴】

あいち国際女性映画祭(2019) グランプリ・観客賞をW受賞



**ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき (84分)**

2019年/日本

《女》から《男》へ、そしてその先にあるものとは? 性別を超えた、あるがままの「わたし」と出会うまで

女性として生まれたが、自分の性に違和感を持ち続けていた小林空雅さん。13歳のとき、心は男性/生物学的には女性である「性同一性障害」と診断される。

20歳で性別適合手術を受け、戸籍も男性に変えた。本作はそんな1人の若者の9年間の変化と成長を描いた《このころの居場所》についてのドキュメンタリー。



**マララ -教育を求めて闘う少女- (30分)**

2014年/イギリス

一人の少女の言葉が、行動が、世界を変える

2012年10月、パキスタンの少女マララはタリバンに銃撃された。イスラム社会における女子教育の必要性を訴えて活動していた彼女は、タリバンの標的となっていたのだ。マララは危険な目に遭いながらもなぜ世界に訴え続けるのだろうか? 教育を受ける権利とは? 彼女の信念と素顔を見る。



利用団体  
活動紹介展示

日頃、もりおか女性センターで活動している団体の紹介を展示いたします。

■展示場所：もりおか女性センター

**【お問合わせ先】もりおか女性センター**

〒020-0871

盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5F

TEL:019-604-3303 Email:mjc@sankaku-npo.jp

